

2022年度 決算のお知らせ

～特別勘定の現況～

【対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日】



この商品は、2007年8月31日をもって新規のお取扱いを停止させていただいており、一時投入保険料のお払込み（増額）のみのお取扱いとさせていただきます。一時投入保険料のお払込み（増額）をご検討いただく際には、必ず「特に重要なお知らせ」をあわせてご覧ください。

明治安田生命保険相互会社

ご契約の最新情報は

明治安田生命ホームページ

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>

お問い合わせは

明治安田生命コミュニケーションセンター



ようこそ ハロー
0120-453-860

一時払変額個人年金保険（災害2割増型）の投資リスク

- ◆ この保険では、保険料を国内外の株式や債券等に投資する特別勘定で運用し、その運用実績によって積立金額が変動（増減）するため、ご契約者は、経済情勢や運用状況によっては一定の収益を期待できますが、一方で株式その他有価証券の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクも負うことになります。運用実績によってはお受け取りになる返戻金額等が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ◆ 運用実績の評価は、プラスの場合もマイナスの場合も、直接、死亡給付金額、返戻金額および将来の年金受取額等に反映され、すべての投資リスクはご契約者に帰属いたします。
- ◆ 特別勘定における資産運用では、主に以下の投資リスクがあります。

投資リスクの種類	投資リスクの内容
①価格変動リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、有価証券の市場価格の変動を反映するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
②金利変動リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、政策金利や市場金利が変動することにより公社債等の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
③為替リスク	外貨建資産に対して投資する特別勘定では、運用資産の評価に使用する為替レートが変動することにより外貨建資産の価格が変動するため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。また、為替ヘッジを行う場合、円とヘッジ対象通貨との金利差相当額分のヘッジ・コストがかかります。
④信用リスク	債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの発行体が、経営状況および財政状況の悪化や倒産等の理由により、利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなることがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑤流動性リスク	株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、流動性の低い株式や債券を売買する場合、売買を希望する時期に市場実勢から期待される適正な価格や希望する数量で売却できないことがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。
⑥カントリーリスク	海外の株式、債券や投資信託等の有価証券に対して投資する特別勘定では、それらの投資対象国の政治・経済・社会状況の不安定化に伴う金融・証券市場の混乱により、投資対象国の資産価格が大きく変動することがあるため、積立金額が一時払保険料を下回り、ご契約者が損失を被る可能性があります。

特別勘定の種類と運用方針について

- ◆ 特別勘定の種類と各特別勘定で投資を予定している投資信託は当社が定めます。特別勘定では投資信託のほか、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- ◆ 特別勘定の種類と特別勘定の運用方針については、今後変更することがあります。

特別勘定の種類 コード	運用方針	資産運用関係費 (投資信託の信託報酬) (年率)	組入れ投資信託の特色・主な投資リスク		
		投資信託委託会社			
バランス型 (A) 0413	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ ライフプラン50VA (適格機関投資家限定)」に投資することにより行います。	0.6600% (税抜0.60%)	三菱UFJ国際投信株式会社	国内外の株式および公社債に分散投資し、各資産の市場見通しに基づいて一定範囲内で資産配分を変更し、超過収益を目指します。為替リスクに対するヘッジは原則として行いません。基準組入比率は右記のとおりです。価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等があります。	国内株式 : 30% 国内債券 : 35% 海外株式 : 20% 海外債券 : 10% 短期金融資産 : 5%
日本株式型 (A) 0416	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ 日本株式オープンVA (適格機関投資家限定)」に投資することにより行います。	0.9350% (税抜0.85%)	三菱UFJ国際投信株式会社	日本株式に分散投資し、TOPIX (東証株価指数) を中長期的に上回る投資成果を目指してアクティブ運用を行います。成長力や業績改善度の大きな銘柄、または株価が企業価値に対して割安で今後上昇が見込まれる銘柄を選択します。日本株式の価格変動リスク等があります。	
日本株式型 (B) 0417	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA日本株式オープン (適格機関投資家私募)」に投資することにより行います。	0.8030% (税抜0.73%)	明治安田アセットマネジメント株式会社	日本株式に投資し、TOPIX (東証株価指数) を中長期的に上回る投資成果を目指してアクティブ運用を行います。グローバルなリサーチ体制のもと、企業の成長性、クオリティー (経営内容の質、財務体質等)、企業価値評価を重視して成長株への投資を行います。日本株式の価格変動リスク等があります。	
日本株式型 (C) 0418	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用)」に投資することにより行います。	0.9680% (税抜0.88%)	フィデリティ投信株式会社	日本株式に分散投資し、長期的にTOPIX (配当金込) を上回る運用成果をあげることがを目標とします。綿密な企業調査に基づき、業種や企業規模を限定せずに将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して、妥当と思われる株価水準で投資を行います。日本株式の価格変動リスク等があります。	
海外株式型 (A) 0420	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型株式投資信託「三菱UFJ海外株式オープンVA (適格機関投資家限定)」に投資することにより行います。	0.9350% (税抜0.85%)	三菱UFJ国際投信株式会社	日本を除く世界主要国の株式に分散投資し、MSCIコクサイ・インデックス (円換算ベース) を中長期的に上回る投資成果を目指します。投資対象国別の資産配分および銘柄選択におけるアクティブ運用により、超過収益の獲得を目指します。為替リスクに対するヘッジは原則として行いません。海外株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。	
海外債券型 (A) 0422	当該特別勘定資産の運用は、主として、追加型投信「明治安田VA外国債券オープン (適格機関投資家私募)」に投資することにより行います。	0.6270% (税抜0.57%)	明治安田アセットマネジメント株式会社	日本を除く世界主要国の公社債に分散投資し、F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) を中長期的に上回る投資成果を目指します。各国の政治・経済動向を分析して国別の配分を決め、信用度の高い公社債に投資します。為替リスクに対するヘッジは原則として行いません。海外債券の為替リスク、信用リスク、金利変動リスク等があります。	
マネー型 0424	コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。なお当該特別勘定では、明治安田生命が直接運用します。	資産運用関係費は かかりません	—	—	—

資産運用関係費について

- 資産運用関係費は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。投資信託の信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して上記の所定の率を乗じたものです。また資産運用関係費には、信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかります。
- 公表されるユニット価格は、資産運用関係費および保険契約関係費を控除した後のものです。
- 資産運用関係費については、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

組入れ投資信託の詳細について

- マネー型を除く各特別勘定に組み入れる投資信託の基本的性格、投資方針、投資リスク等については、「特別勘定のしおり」に記載しております。

マネー型について

- マネー型が投資する安全性の高い短期金融資産は一般的に利回りが低いため、保険契約関係費を控除した後の積立金が継続的に減少することがあります。

特別勘定群について

- 一時払変額個人年金保険 (災害2割増型) では、複数の特別勘定を含む特別勘定群を設定しています。
- 一時払変額個人年金保険 (災害2割増型) の特別勘定群に含まれる特別勘定は前記のとおりです。ご契約の際、および特別勘定部分の積立金の移転の際にご選択いただける特別勘定は、前記の特別勘定および今後当社が本特別勘定群に追加する特別勘定に限ります。
- 当社の変額個人年金商品には、本特別勘定群とは異なる特別勘定群を設定した商品などがあります。詳細は明治安田生命コミュニケーションセンターにご照会いただくか、当社ホームページにてご確認ください。

保険契約関係費などの諸費用について

◆ 据置期間中の費用や年金支払期間中の費用など契約者にご負担いただく費用があります。

1. 年金開始日前の費用

(ア) すべてのご契約者にご負担いただく費用

● 次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険契約関係費	死亡給付金・災害死亡給付金のお支払いや、ご契約の締結・維持に必要な費用	特別勘定の資産総額に対して、年率1.454%	特別勘定の資産総額に対して、年率1.454%/365日を毎日控除します
資産運用関係費	特別勘定の運用にかかわる費用です。投資信託の信託報酬や信託事務の諸費用等を含みます	各特別勘定において利用する投資信託により異なります。詳しくは、 特別勘定の種類と運用方針 についてをご覧ください。	投資信託の信託報酬は、各特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、所定の率を乗じた金額を毎日控除します

※資産運用関係費は、主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。また、投資信託の信託報酬の他にも、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金など特別勘定の運用に係る費用等が控除されます。信託報酬以外のこれらの諸経費等については、投資信託委託会社における運用により発生し、その運用方法によって変動することから、費用の発生前にその金額や割合などを確定させることが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニット価格に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。

※資産運用関係費は、運用手法の変更や運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

(イ) 特定の場合にご負担いただく費用

● 特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項目	ご負担いただく場合	費用	時期
保険契約維持費	月単位の契約当日の前日に既払込保険料相当額が200万円未満の場合	毎月400円	月単位の契約当日の前日に積立金から控除します
解約控除	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から解約日・一部解約日の翌営業日までの経過年数が10年未満の解約または一部解約の場合（契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）から10年以上経過後に解約・一部解約する場合には解約控除はありません）	契約日（一時投入保険料部分については、その責任開始時の属する日）からの経過年数に応じ、既払込保険料相当額に対して6.0%～0.6%の解約控除率を乗じた金額	解約・一部解約時にお支払いする積立金から控除します

2. 年金開始日以後の費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	年金年額に対して1.0%*	年金開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します

* 上記の率は、将来変更となる可能性があります。

ご契約者にご負担いただく諸費用の合計額は、上記の「保険契約関係費」と「資産運用関係費」の合計です。なお、既払込保険料相当額が200万円未満の場合には「保険契約維持費」、契約日から10年未満の解約・一部解約の場合には「解約控除」がかかります。

1. 市場概況

◆国内債券◆

国内債券市場では、長期金利は、日銀の許容変動幅の上限である0.25%近辺で推移した後、12月金融政策決定会合での許容変動幅拡大を受け、0.5%台まで上昇しました。その後、日銀が金融緩和政策の継続を決定したこと等から金利は低下し、10年国債利回りは前年度末対比0.110%高い0.320%で引けました。

◆国内株式◆

国内株式市場は、世界的な金融引き締め加速観測等により6月中旬にかけて軟調に推移した後、円安進行による業績改善期待等から8月中旬にかけて急反発しました。その後、世界的な利上げペース加速に対する警戒感等から9月下旬にかけて大きく下落した後、米インフレ指標の鈍化を受けたF R Bの金融政策転換への期待等から下値を切り上げる展開となりました。年末にかけて日銀の許容変動幅拡大を受けて急速に円高が進行したこと等から再び下落しましたが、年明け以降は、円高の一服や東証の企業価値向上策への期待等から上昇基調で推移し、日経平均は前年度末対比220円高い28,041円で引けました。

◆外国債券◆

米国債券市場では、長期金利はインフレ抑制を企図したF R Bによる急速な利上げを受けて10月下旬にかけ上昇基調で推移した後、インフレ鈍化による利上げペース鈍化観測とそれに対するF R B高官の牽制発言が交錯するなか、経済指標の強弱を受けて金利は上下に振られる展開。米国10年債利回りは前年度末対比1.129%高い3.470%で引けました。

◆外国株式◆

米国株式市場は、ウクライナ情勢の緊迫化と欧米各国のロシアへの経済制裁、世界的インフレを受けた各国中銀の急速な利上げとそれを受けた景気後退懸念が株価の下落圧力となった一方、市場予想より良好な企業決算や底堅い米個人消費の持続、F R Bのハト派化観測による局所的な反発局面を挟むことで上下に振れながら推移し、N Yダウは前年度末対比1,404ドル低い33,274ドルで引けました。

◆為替◆

為替については、F R Bの利上げによる内外金利差拡大を受けて円安が進行した後、F R Bの金融引締め鈍化観測や12月の日銀によるY C C上限引上げからやや値を戻し、対ドルでは前年度末対比11円14銭安の133円53銭で終わりました。また、欧州でも同様の内外金利差拡大等により12月にかけて円安が進行し、対ユーロでは前年度末対比9円02銭円安の145円72銭で終わりました。

2. 保有契約高（2022年度末）

（単位：件、百万円）

区分	件数	金額
一時払変額個人年金保険（災害2割増型）	29	92

- ・保有契約高には、年金開始後契約等の一般勘定部分を含めています。
- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

3. 特別勘定資産の内訳（2022年度末）

（単位：百万円、%）

区分	投資信託		短期金融資産等		合計	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
0413 バランス型（A）	39	96.5	1	3.5	41	100.0
0416 日本株式型（A）	29	95.7	1	4.3	30	100.0
0417 日本株式型（B）	23	95.4	1	4.6	24	100.0
0418 日本株式型（C）	28	99.3	0	0.7	28	100.0
0420 海外株式型（A）	62	96.5	2	3.5	64	100.0
0422 海外債券型（A）	11	95.9	0	4.1	12	100.0
0424 マネー型	-	-	0	100.0	0	100.0

- ・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ・比率は、特別勘定資産合計に対する割合です。また、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

4. 特別勘定の運用収支

(単位：百万円)

区分	0413	0416	0417	0418	0420	0422	0424
	バランス型 (A)	日本株式型 (A)	日本株式型 (B)	日本株式型 (C)	海外株式型 (A)	海外債券型 (A)	マネー型
利息配当金等収入	4	6	5	3	7	1	-
有価証券売却益	-	-	-	0	0	0	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	20	17	12	10	44	1	-
為替差益	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	0	0	0	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	24	20	19	12	55	3	-
為替差損	-	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-	-
その他の費用	-	-	-	-	-	-	-
収支差額	0	3	△ 1	1	△ 3	△ 0	-

・金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

5. 特別勘定の運用実績

各特別勘定の運用実績につきましては、次ページ以降をご参照ください。

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

バランス型(A)

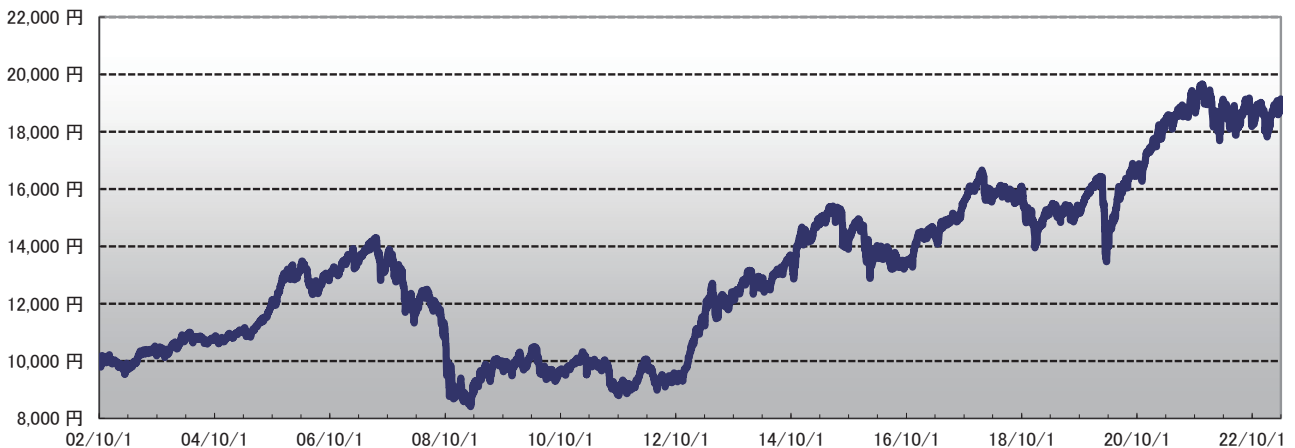
コード:0413

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+1.79%、直近1年で+0.40%、設定来で+91.44%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	19,143.67794676	直近1カ月	+1.79%
2023年2月末	18,806.98520693		
2023年1月末	18,539.77286898	直近3カ月	+6.34%
2022年12月末	18,002.85562679		
2022年11月末	18,796.67970886	直近6カ月	+4.82%
2022年10月末	18,957.99892006		
2022年9月末	18,262.68498223	直近1年	+0.40%
2022年8月末	18,851.88133351		
2022年7月末	18,664.00981628	直近3年	+32.99%
2022年6月末	18,250.34492845		
2022年5月末	18,626.36925332	設定来	+91.44%
2022年4月末	18,622.65309452		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ ライフプラン50VA(適格機関投資家限定)

設定・運用: 三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本株式型(A)

コード:0416

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+3.67%、直近1年で+8.88%、設定来で+154.19%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	25,419.19042619	直近1カ月	+3.67%
2023年2月末	24,518.99026989		
2023年1月末	24,276.84621331	直近3カ月	+10.15%
2022年12月末	23,076.62639964		
2022年11月末	24,378.12562497	直近6カ月	+12.06%
2022年10月末	23,992.94659827		
2022年9月末	22,682.74833882	直近1年	+8.88%
2022年8月末	23,782.03240154		
2022年7月末	22,994.70443164	直近3年	+68.79%
2022年6月末	22,443.98454858		
2022年5月末	23,388.66889347	設定来	+154.19%
2022年4月末	22,929.53585916		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託:三菱UFJ 日本株式オープンVA(適格機関投資家限定)

設定・運用:三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本株式型(B)

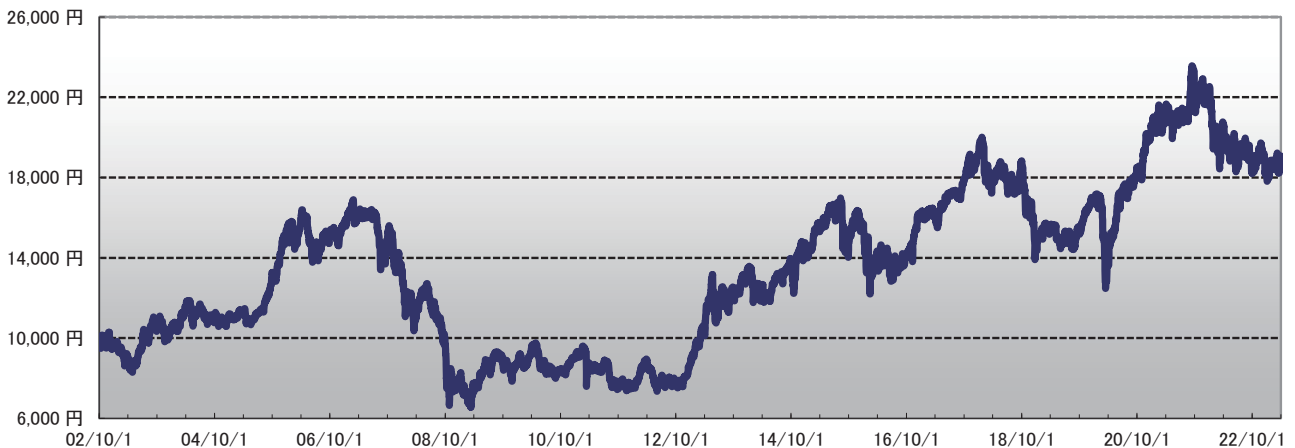
コード:0417

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+2.76%、直近1年-7.14%、設定来で+90.74%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	19,073.86450530	直近1カ月	+2.76%
2023年2月末	18,562.23462997	直近3カ月	+5.30%
2023年1月末	18,669.91535219	直近6カ月	+4.78%
2022年12月末	18,114.05336063	直近1年	-7.14%
2022年11月末	19,375.52303076	直近3年	+33.42%
2022年10月末	18,998.00497362	設定来	+90.74%
2022年9月末	18,204.31446816		
2022年8月末	19,328.25722922		
2022年7月末	19,436.90192251		
2022年6月末	18,776.69350479		
2022年5月末	19,679.34348535		
2022年4月末	19,649.41176489		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 明治安田VA日本株式オープン(適格機関投資家私募)
設定・運用: 明治安田アセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

日本株式型(C)

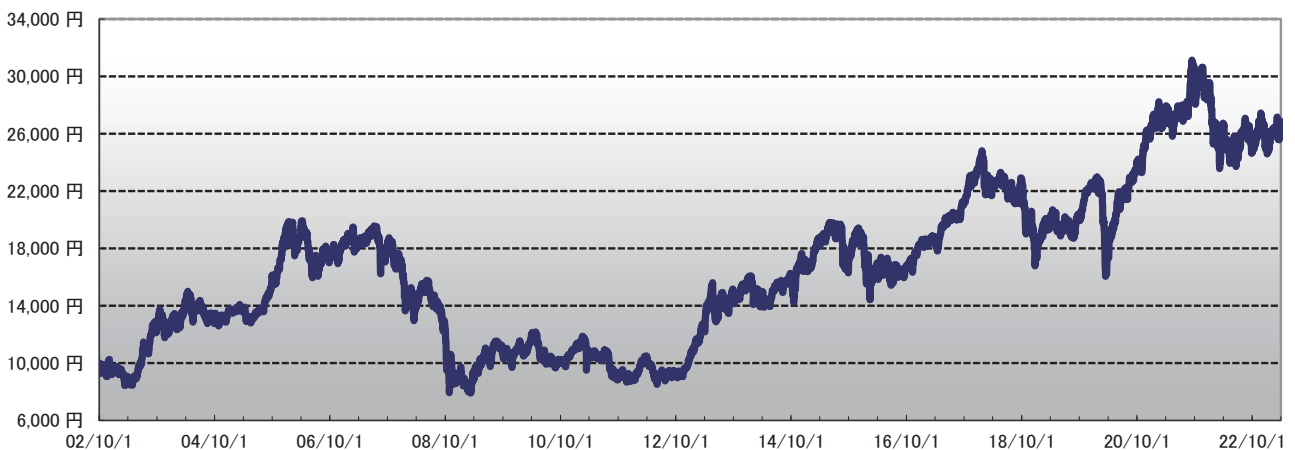
コード:0418

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+2.70%、直近1年で+1.61%、設定来で+168.59%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	26,859.08376415	直近1カ月	+2.70%
2023年2月末	26,152.84012171		
2023年1月末	26,101.10665527	直近3カ月	+7.71%
2022年12月末	24,935.32954074		
2022年11月末	26,843.35475341	直近6カ月	+8.67%
2022年10月末	26,105.66772176		
2022年9月末	24,715.24994959	直近1年	+1.61%
2022年8月末	26,210.40051591		
2022年7月末	25,757.88385718	直近3年	+46.62%
2022年6月末	24,566.57049808		
2022年5月末	25,177.75776394	設定来	+168.59%
2022年4月末	25,239.74789866		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3(適格機関投資家専用)
 設定・運用: フィデリティ投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

海外株式型(A)

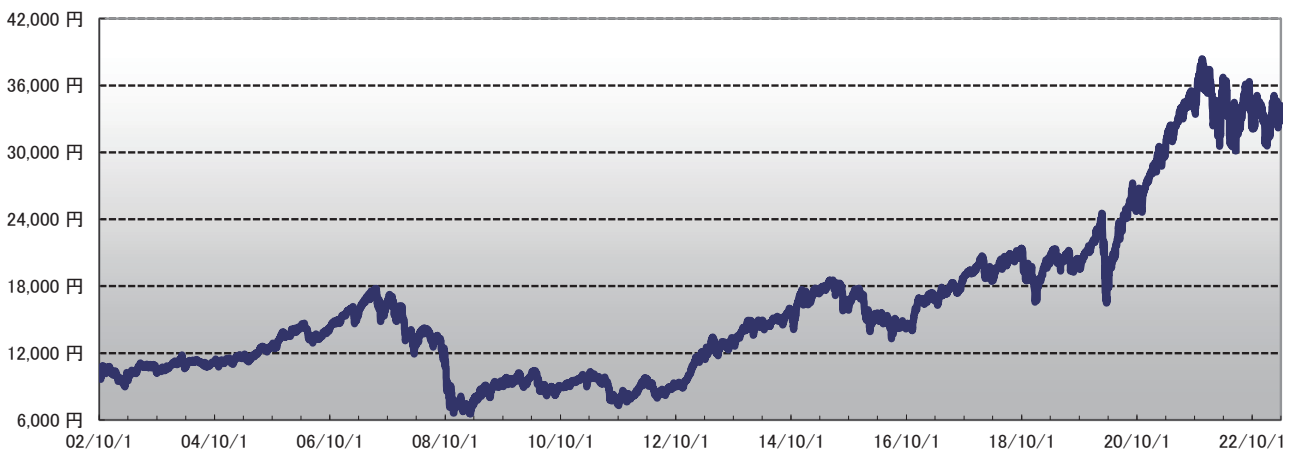
コード:0420

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+0.53%、直近1年で-6.11%、設定来で+242.13%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	34,213.25769421	直近1カ月	+0.53%
2023年2月末	34,033.71998544		
2023年1月末	33,018.95766999	直近3カ月	+10.08%
2022年12月末	31,079.69799809		
2022年11月末	33,526.35186909	直近6カ月	+5.75%
2022年10月末	35,130.95730141		
2022年9月末	32,353.61043559	直近1年	-6.11%
2022年8月末	34,234.32322724		
2022年7月末	34,032.24203614	直近3年	+81.98%
2022年6月末	32,165.57995441		
2022年5月末	32,927.39791062	設定来	+242.13%
2022年4月末	33,653.67339628		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 三菱UFJ 海外株式オープンVA(適格機関投資家限定)

設定・運用: 三菱UFJ国際投信株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

海外債券型(A)

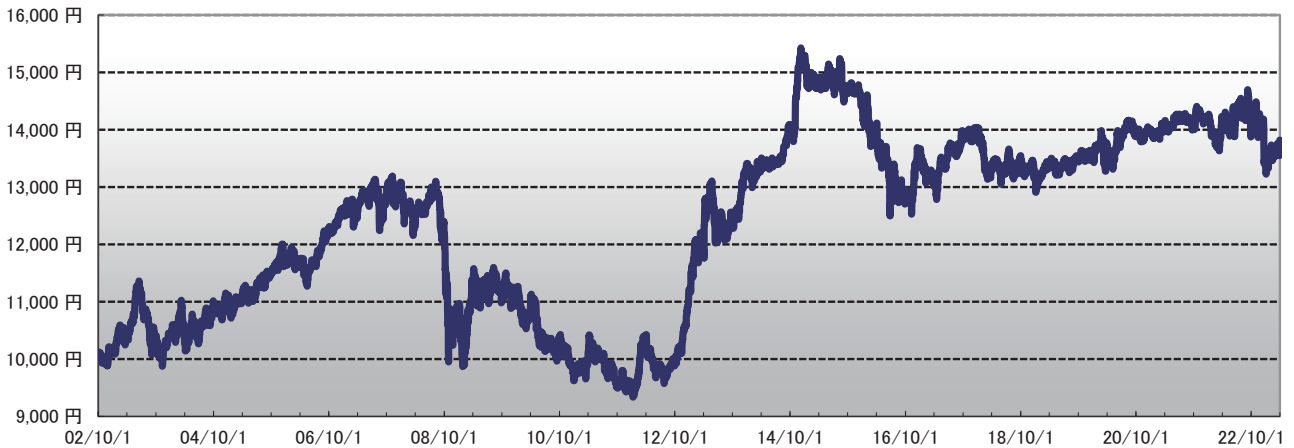
コード:0422

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で+0.98%、直近1年で-2.29%、設定来で+38.20%でした。運用方針に従い、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資対象とする投資信託への投資を行いました。組入比率については、期間を通じて概ね高位を維持しました。また、今後も引き続き投資対象とする投資信託への投資を行う方針です。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	13,819.54109885	直近1カ月	+0.98%
2023年2月末	13,684.94929408		
2023年1月末	13,539.32268246	直近3カ月	+3.23%
2022年12月末	13,387.28487150		
2022年11月末	14,070.86352404	直近6カ月	-2.24%
2022年10月末	14,487.96796748		
2022年9月末	14,136.53733702	直近1年	-2.29%
2022年8月末	14,284.88140850		
2022年7月末	14,430.90183830	直近3年	+0.49%
2022年6月末	14,324.22126200		
2022年5月末	14,034.74407203	設定来	+38.20%
2022年4月末	14,141.38412285		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
 ・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

《組入れ投資信託》

投資対象とする投資信託: 明治安田VA外国債券オープン(適格機関投資家私募)
 設定・運用: 明治安田アセットマネジメント株式会社

特別勘定の運用概況

2023年3月31日現在

マネー型

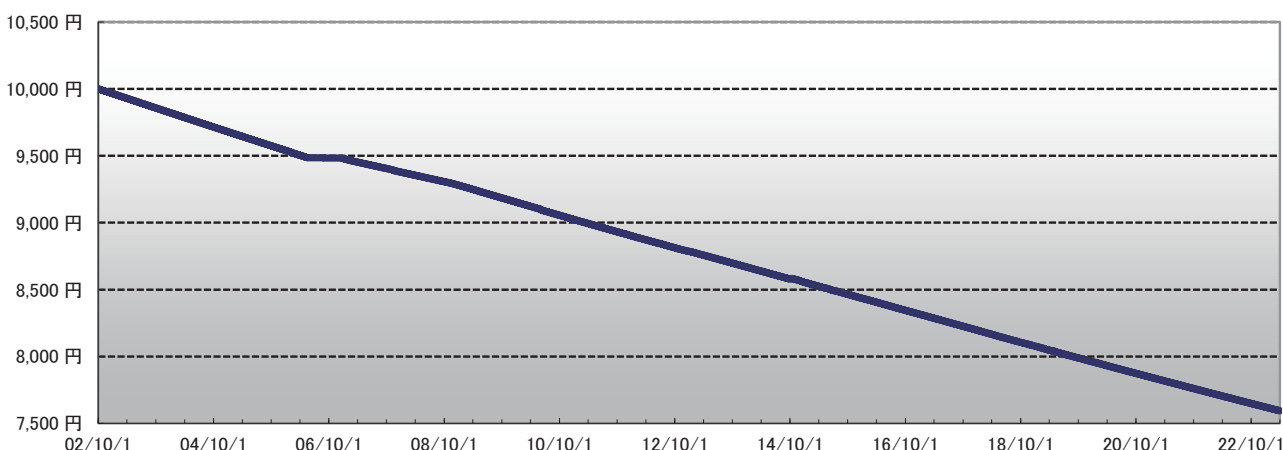
コード:0424

明治安田生命保険相互会社

《運用方針および運用の経過》

特別勘定のユニット価格の変化率は直近1カ月で-0.12%、直近1年で-1.44%、設定来で-24.06%でした。
運用方針に従い、コールローン等の短期金融資産に投資し、安定した利息収入を追求します。

《特別勘定ユニット価格の推移》



ユニット価格		ユニット価格変化率	
2023年3月末	7,593.79044461	直近1カ月	-0.12%
2023年2月末	7,602.96280581		
2023年1月末	7,611.45942890	直近3カ月	-0.36%
2022年12月末	7,620.88243162		
2022年11月末	7,630.25756400	直近6カ月	-0.72%
2022年10月末	7,639.33027276		
2022年9月末	7,648.70540514	直近1年	-1.44%
2022年8月末	7,657.78332810		
2022年7月末	7,667.23928059	直近3年	-4.25%
2022年6月末	7,676.69619746		
2022年5月末	7,685.84917932	設定来	-24.06%
2022年4月末	7,695.32528105		

・小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。
・当該特別勘定の設定日は2002年10月1日です。

お問い合わせ、ご照会は

募集代理店	引受保険会社 明治安田生命保険相互会社 本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 電話 03 (3283) 8111〔代表〕 ホームページ https://www.meijiyasuda.co.jp/
-------	--